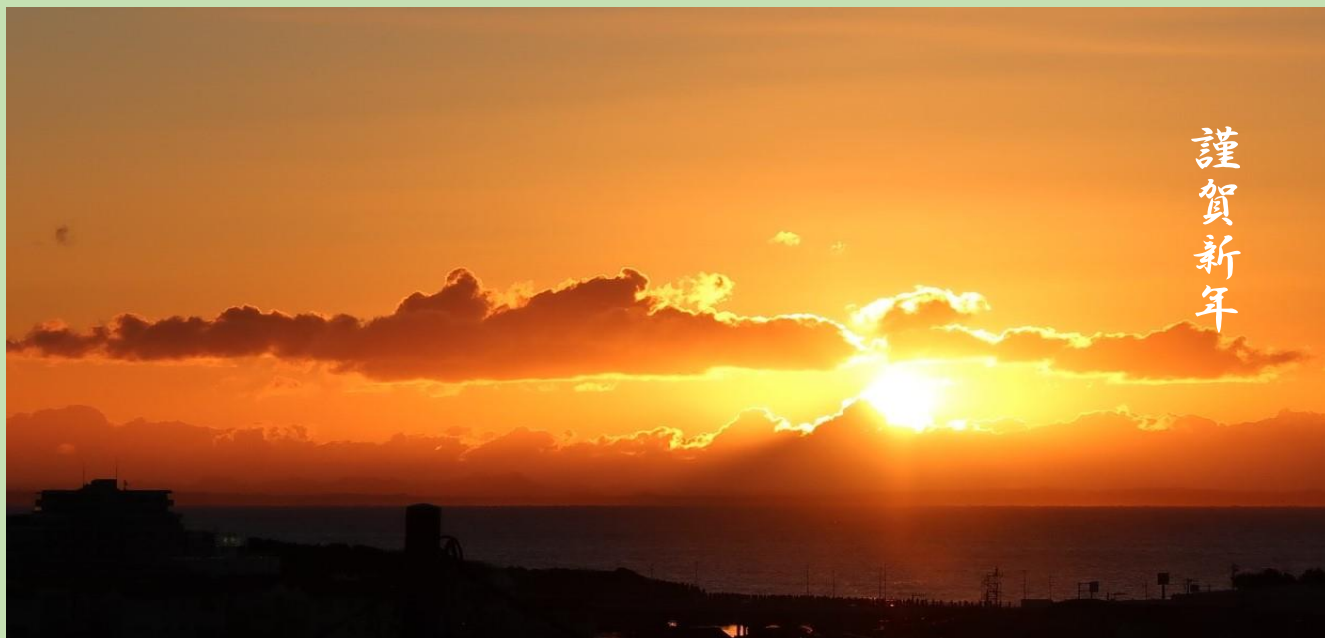


令和3年1月1日 初日の出



広報誌「ひゃくじゅ」の由来

「ご利用者・職員ともに幸せでありたい」という、大磯幸寿苑の願いが込められています。

～～～ 経営理念 ～～～

「高齢者はすべて我々社会の功労者であり人生の大先輩である」との理念に基づき、幸寿苑は設立されました。加齢による心身の衰えは何人も避ける事のできないことであり、それ故に、一層の敬愛の情と細心の注意をもって高齢者に接しなければならないと、私どもは考えております。施設をご利用いただく方々には少しでも内容豊かな生活をしていただき、一日でも早い在宅復帰・在宅支援が実現できるよう最善の努力をします。また、利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活がすすめるようチームで支援します。

医療法人社団 幸寿会 介護老人保健施設 大磯幸寿苑

令和2年文化祭出展作品「花の楽園」

∞∞∞ コンテンツ ∞∞∞

☆「年頭のご挨拶」

大磯幸寿苑施設長 堀井 昌子

☆～作業療法とは？～

作業療法士 片切 深央

☆2階通路に写真が10点掲載されました

大磯町馬場写真愛好会会員

☆職員紹介

看護師 伊東 弥生

☆フォトレポート

おやつバイキング、文化祭、クリスマスパーティー
クリスマス会&敬老会、デイクリスマス会、他



「年頭のご挨拶」

施設長 堀井 昌子

大磯幸寿苑をご利用の皆さま、
ならびに職員の皆さま、
新年 明けましておめでとうございます



今年も活気あふれる、充実した、そして実りある一年にしていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

申すまでもありませんが、介護老人保健施設の理念と役割に思いを致すとき、私どもにとって人生の大先輩でありますご利用の皆さまにふさわしい、包括的ケアサービスを受けることができる場であるべしと考えます、と同時に適切なリハビリテーション施設であり、在宅復帰施設であり、在宅生活支援施設でなければなりません。

要介護と認定されても施設サービス計画に基づいて、看護、介護、そして必要な医療ならびに日常生活上の支援が得られれば、それぞれの持つ能力に応じて、自立した日常生活を営みつつ居宅生活への復帰を果たすことが可能です。

目標を持って励みましょう。

～作業療法とは？～

作業療法士 片切 深央

「作業療法ってなに？」と訊かれると、いつも「あらゆる活動を通してその方が生活しやすくなるようにアプローチしています」



・・・なんて答えるの

ですが、大抵の人は頭に“？”マークが。作業療法って一言では表しづらくてなんとも難しい・・・。

作業療法は、リハビリテーションの1つで『作業に焦点を当てた治療、指導、援助である。作業とは対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為を指す。(日本作業療法士協会より)』とされています。作業療法で言う『作業』とは人々が行うあらゆる活動のことを示します。つまり何かモノを作るという意味での作業だけではありません。『作業』には、日常生活活動・家事・仕事・趣味・遊び・対人

交流・休養など人が営む行為と、それを行うのに必要な心身の活動が含まれています。ひとはあらゆる活動を連続的に行うことで生活しています。その活動ができるように・するようにしていくのが私たちの役割だと思っています。

そこで今回、私にとっての作業療法は何か？を考えてみることにしました。

私にとっての作業療法とは『できないことに対しての“なぜ？”を考え、その方と共有し、解決できるよう道筋を作り、その対象者が主体的に行えるよう支えること』である、と。

その方がなぜできないのか？を考えます。例えば『食事が一人で食べられないのはなぜ？』に対して、利き手の関節が動かしていないから？筋力が足りない？箸がうまく使えていない？姿勢が崩れてるから？見えていない？気が散っている？食べ物と認識していない？食べたくない？美味しくないと、好き嫌い？・・・などなど、いろいろな仮説を想定します。その評価を元に必要な機能訓練・動作練習・環境調整・道具の選定・実践など繰り返し、またその方の生きてきた背景やパーソナル、習慣、精神心理状況などを考慮して、“できる”や“する”に導いていきます。

私は人の行動には必ず意味があると思っています。同じ作業（活動）であってもその人それぞれに意味することが違います。勝手な解釈をせずよく話を聞き、その人の想いを感じとり、できること・することにつなげられることを目指し、黒子になって支援できるようこれからも日々精進していきたいと思えます。

2階通路に写真が掲載されました 11月26日

大磯町馬場写真愛好会の方々作品10点の写真が2階通路壁面に掲載されました。



職員紹介

看護師 伊東 弥生

看護師になり20数年になりますが施設は初めての経験です。病院では急性期や慢性期に勤務し認知症など老年看護を学ぶ機会が多くなり、また自分の父を看取る事で病気を看るだけでなく、最期まで人らしく生きていくことの大切さを考え施設での看護を志しました。やりがいは元気に退院される方やお看取り際、患者さんご本人やご家族からの言葉です。心に寄り添い、自分の親や大切な人を任せられるような看護師になりたいと思っています。



幸寿苑の皆様の、いつも優しく関わり常に学ぶ姿勢や、他職種の方が連携し合い利用者さんを第一に考える姿勢に感動しています。私も早くそうなるよう、自身の私生活も大切に心にゆとりを持って仕事に励みたいと思います。私は、宮古島と泳げないのに海が好きです。元々地黒なのですが、夏はさらに年甲斐もなく、また日焼け止めの効果もなく真っ黒になってしまいます。食べる事と飲む事、そして、何より人と関わる事が大好きです。

フォトレポート

おやつバイキング 10/29



文化祭 11/2~11/13

今年も沢山の力作が出展されました。



文化祭



クリスマスイルミネーション点灯
今年も中庭にクリスマスのイルミネーションが点灯
されました。



クリスマス&敬老会 12/12 フロア別に開催
今年のクリスマスは例年と趣を変え、スタッフに
よる朗読劇「貧しい少女のクリスマ
ス」を上演し、その後はハンドベル
による演奏が催されました。



デイクリスマス会 12/14~18

日ごとに違うゲームを楽しみ、ケーキやプレゼント
をいただき、他の利用者さんやスタッフと懇親を深
めました。



行事食海鮮丼 12月18日



12月24日 クリスマスにイチゴのケーキを
いただきました。

